

[003] 総合文化学論輯表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1955352>

出版情報：総合文化学論輯. 3, 2015-11-01. Japan Institute for Comprehensive Cultural Studies
バージョン：
権利関係：

総合文化学会活動記録（2015年5月～11月）

論集「総合文化学論輯」（ISSN 2189-0986）第2号刊行。2015年5月1日。

第5回総合文化学会（2015年9月27日（日） 18:30～20:00）

共催：尾道学研究会・尾道市立大学芸術文化学部日本文学科光原研究室

後援：山陽日日新聞社

申込：尾道市立大学地域総合センター（電話 0848-22-8311 【代表】）

場所：尾道市立大学サテライトスタジオ1F（広島県尾道市久保3丁目）

講師：荒木正見（九州大学哲学会会長・尾道学研究会顧問・哲学、心理学）

光原百合（尾道市立大学芸術文化学部日本文学科教授・文芸創作）

公開講演会「哲学／文学セッション【尾道という「場所論」と「場の力」
～光原百合作『扉守』から～ パートⅤ】

尾道市立大学教授・光原百合の作品集『扉守』（株式会社文藝春秋）の各短編を解説するシリーズも第5回目となり、今回は「写想家」を取り上げる。

内容：

1. 荒木正見講演 『光原百合「写想家」における「想い」の現実性』

作品では、カメラという道具が写真家の腕（？）によって、対象が想っていることを抜き取るというファンタジーが描かれるが、たしかに私たちが普段思っていることはどれほどの存在的現実性があるのか、は大きな課題である。

作品のテーマの枠組みから哲学的にも重要なテーマへと拓いてみる。

2. 両講師による「写想家」についての対談

第6回総合文化学会（共催・第25回地域健康文化学会）

時：2015年10月11日（日）午前10時～午前11時50分

場所：福岡市男女共同参画推進センターアミカス研修室F（Phone：092-526-3755）

（西鉄大牟田線高宮駅改札口左にでてそのまま歩道橋を右隣のビルへ）

1. ご挨拶・ご連絡

2. 口頭発表

①

発表者：佐藤慶治（国立音楽大学声楽専修卒業。九州大学大学院比較社会文化学府博士後期課程在学。

バリトン歌手(犬童球溪顕彰音楽祭個人コンクール優勝、九州音楽コンクール審査員特別賞受賞)

発表題目：明治期の唱歌歌詞における「日本の美」

概要：「日本」という国民国家が誕生して間もない明治期における唱歌は、学校教育を通じてナショナル・アイデンティティを創出する装置であった。「日本の美」という概念が、唱歌によって国民に浸透した過程を考察する。

②

発表者：大和裕美子（ソウル大学アジア研究所 東北アジアセンター客員研究員・九州大学大学院比較社会文化研究院 特別研究者・2015年平野健一郎賞受賞）

発表題目：民主化以降の韓国社会における「民主主義」の模索

—朴正熙の評価をめぐる言説から—

概要：大統領直接選挙制の実現によって達成された「民主化」という認識枠組みの中で、韓国の人々はどのように、民主化以前の時代を捉えながら、「民主主義」を位置づけてきたのか。この問いの答えに接近するため、本報告では、朴正熙への評価をめぐる言説に着目する。

論集「総合文化学論輯」（ISSN 2189-0986）第3号刊行。2015年11月1日。